

2018年5月1日～2018年10月26日の間に 緩和ケアチーム対象患者さんにおいて Inbody 測定を受 けられた方へ

—「緩和ケアにおける体組成評価と栄養評価」に関する研究へのご協力の

お願い—

研究責任者	川崎医科大学附属病院 栄養部	管理栄養士	末藤 世奈
研究分担者	川崎医科大学附属病院 栄養部	管理栄養士	本多 唯
	同上	栄養部長	遠藤 陽子
	川崎医療福祉大学 臨床栄養学科	客員教授	平井 敏弘

1. 研究の概要

がんという病態は消化管異常や様々な要因により経口摂取の低下をきたすことで栄養障害を併発、また代謝異常による体重減少や筋肉量減少などを認めることがあります。そこで緩和ケアチームの対象のがん患者さんに、栄養状態の評価（血清 TP、Alb、リンパ球数、T-Cho と Inbody 測定、PG-SGA 評価）、自覚症状の評価（STAS-J 症状版）を行います。それらのデータから実態把握を行い検討をし、QOL の向上・維持に繋がられないかと考える研究内容です。

介入を伴わない既存資料のみを用いた後方視的調査研究であるため、患者さんに新たなリスク、負担はありません。また、経済的負担・謝礼はありません。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2018年5月1日～2018年10月26日の間に川崎医科大学附属病院緩和ケアチーム及び緩和ケア病棟において Inbody 測定を受けられた方 9 名を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2020年3月31日の予定

3) 研究方法

2018年5月1日～2018年10月26日の間に当院の緩和ケアチーム及び緩和ケア病棟において Inbody 測定を受けられた方で、体組成測定、自覚症状と栄養状態の評価を実施します。体組成の把握のために生体多周波インピーダンス法（InBody S10）を用いて測定を行います。自覚症状の評価には聞き取りと電子カルテの参照、カンファレンス・ラウンド回診の内容から情報を抽出し、STAS-J 症状版を用いて評価を行います。栄養状態

評価や食事摂取状況等も自覚症状の評価と同様に情報を抽出した上で、PG-SGA を用いて評価を行います。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、副作用等の発生状況、血液検査データ等

5) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2019年10月1日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 栄養部

氏名：末藤 世奈

電話：086-462-1111（内線 22120）ファックス：086-468-1111

3. 資金と利益相反

本研究には資金を要さない研究です。また、本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。